

御堂筋のにぎわいを創出する滞留行動に関する研究



緑地計画学グループ
古川貴裕

第1章 研究の背景および目的

論文構成

研究背景

大阪のメインストリートである御堂筋では、御堂筋イルミネーションや側道でのオープンカフェ等の社会実験が実施される等、にぎわいのある街路づくりが試みられており、その創出が課題となっている。

研究目的

御堂筋の沿道における利用者の滞留行動に視点を当て、にぎわい性の創出方法について探った。

第1章 研究の背景及び目的

第2章 御堂筋沿道の物的環境特性

第3章 御堂筋沿道の滞留行動特性

第4章 滞留行動からみた御堂筋の
にぎわい性の創出方法

第2章 御堂筋沿道の物的環境特性

調査方法

◇調査対象区間 淀屋橋ーなんば間

}	淀屋橋ー本町	それぞれ東西の6地区で集計
	本町ー心齋橋	
	心齋橋ーなんば	

◇調査期間 2009年11月

◇調査項目

民有地の物的環境特性

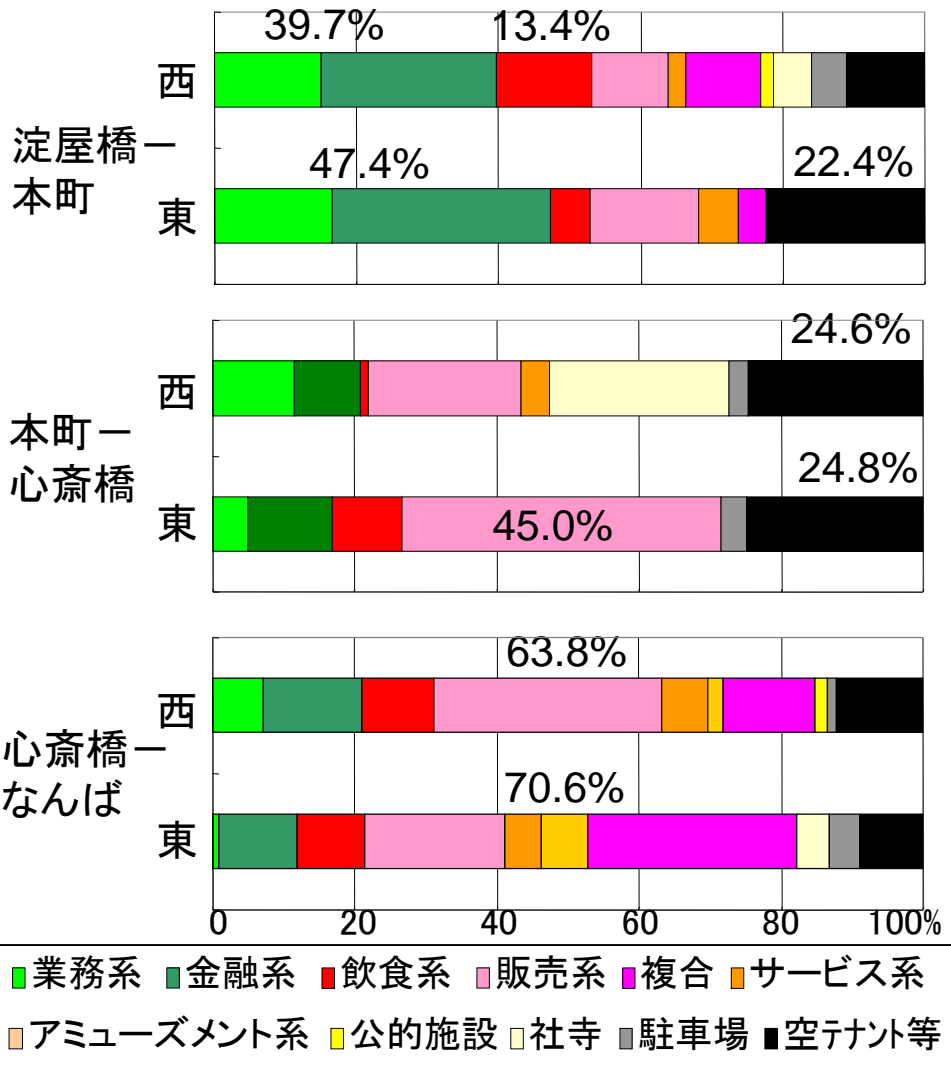
- ・セットバック空地の状況 : セットバック距離、利用可能状況、歩道との舗装色の違いとレベル差、断面アルコーブの状況
- ・一階用途
- ・滞留に影響を与える
ファニチャー等の状況 : 地下出入口の箇所数、ファニチャーの設置状況

歩道の物的環境特性

- ・滞留に影響を与える
ファニチャー等の状況 : 縁石の着座部分の長さ、地下出入口の箇所数、
ファニチャーの設置状況

以上の項目を1/1,000の地形図および現地調査より把握した

第2章 御堂筋沿道の一階用途

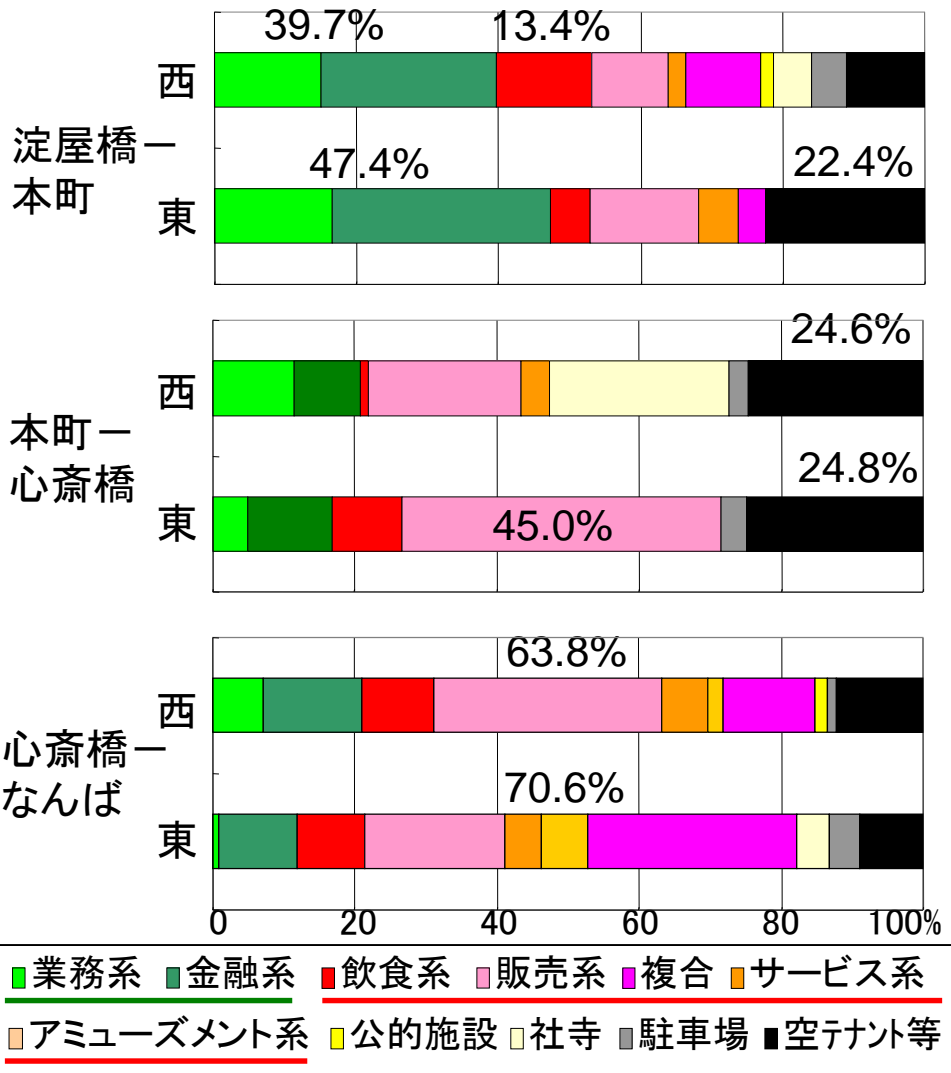


各地区の全長に対する一階用途の間口長の割合



一階用途の現況

第2章 御堂筋沿道の一階用途

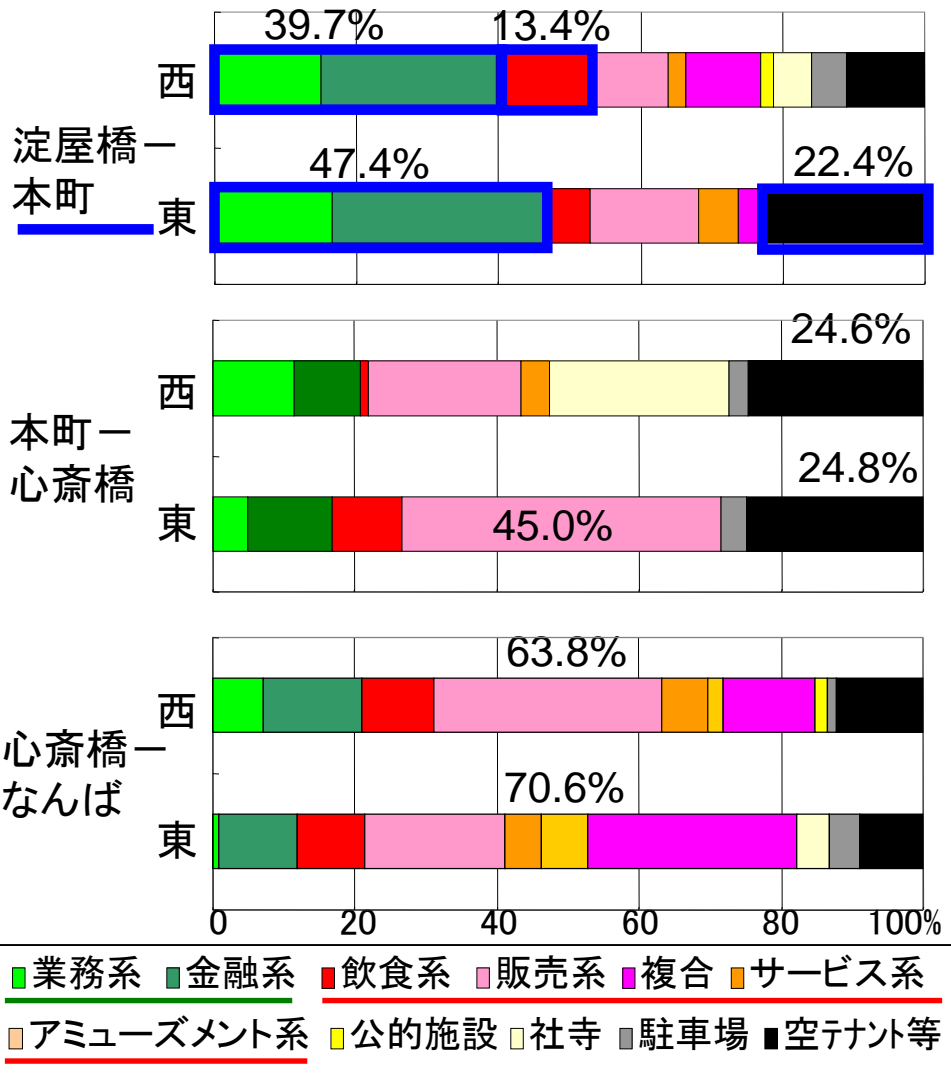


各地区の全長に対する
一階用途の間口長の割合



一階用途の現況

第2章 御堂筋沿道の一階用途

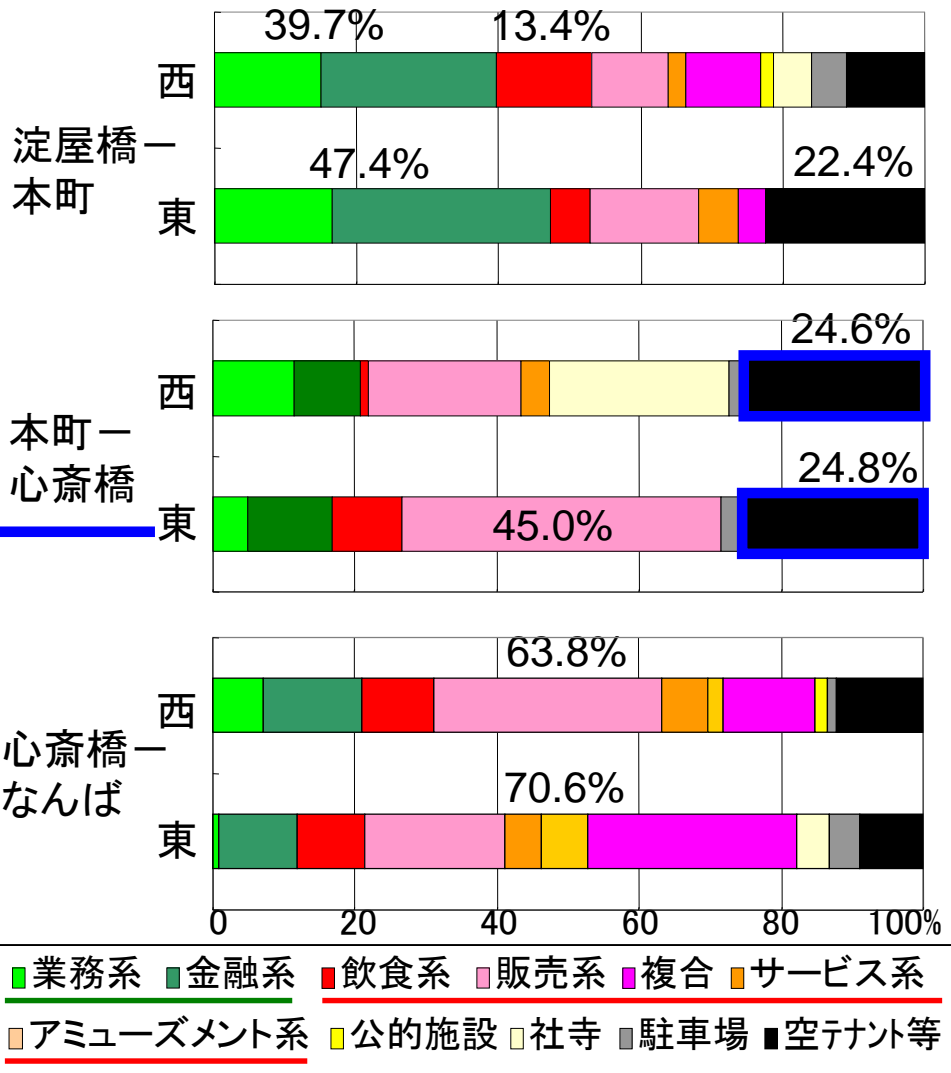


各地区の全長に対する
一階用途の間口長の割合



一階用途の現況

第2章 御堂筋沿道の一階用途

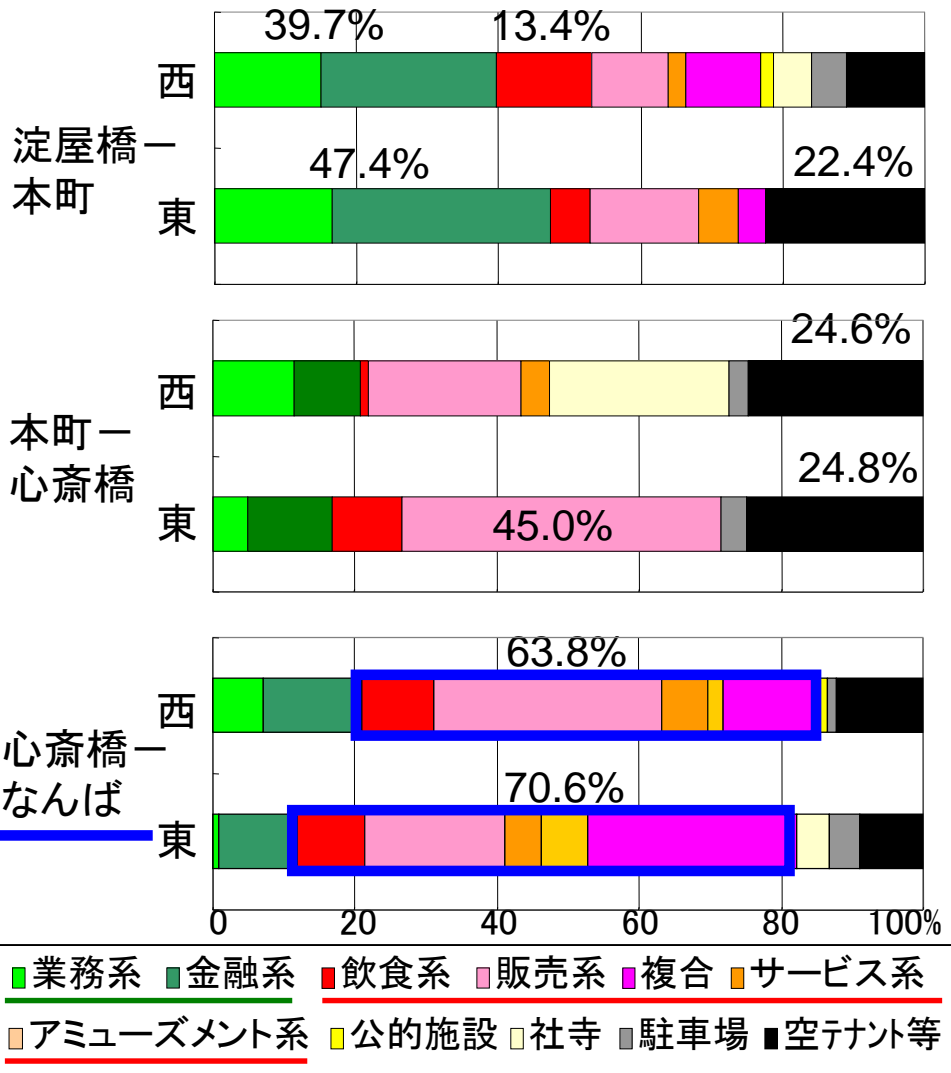


各地区の全長に対する
一階用途の間口長の割合



一階用途の現況

第2章 御堂筋沿道の一階用途



各地区の全長に対する
一階用途の間口長の割合



一階用途の現況

第2章 御堂筋沿道のセットバック距離と利用可能状況



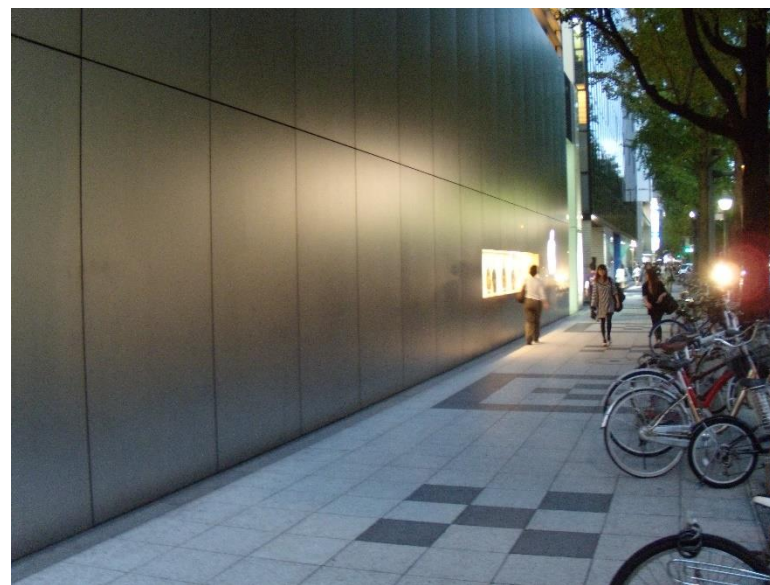
「4m以上セットバック」「利用可能部」



「4m以上セットバック」「利用不可部」

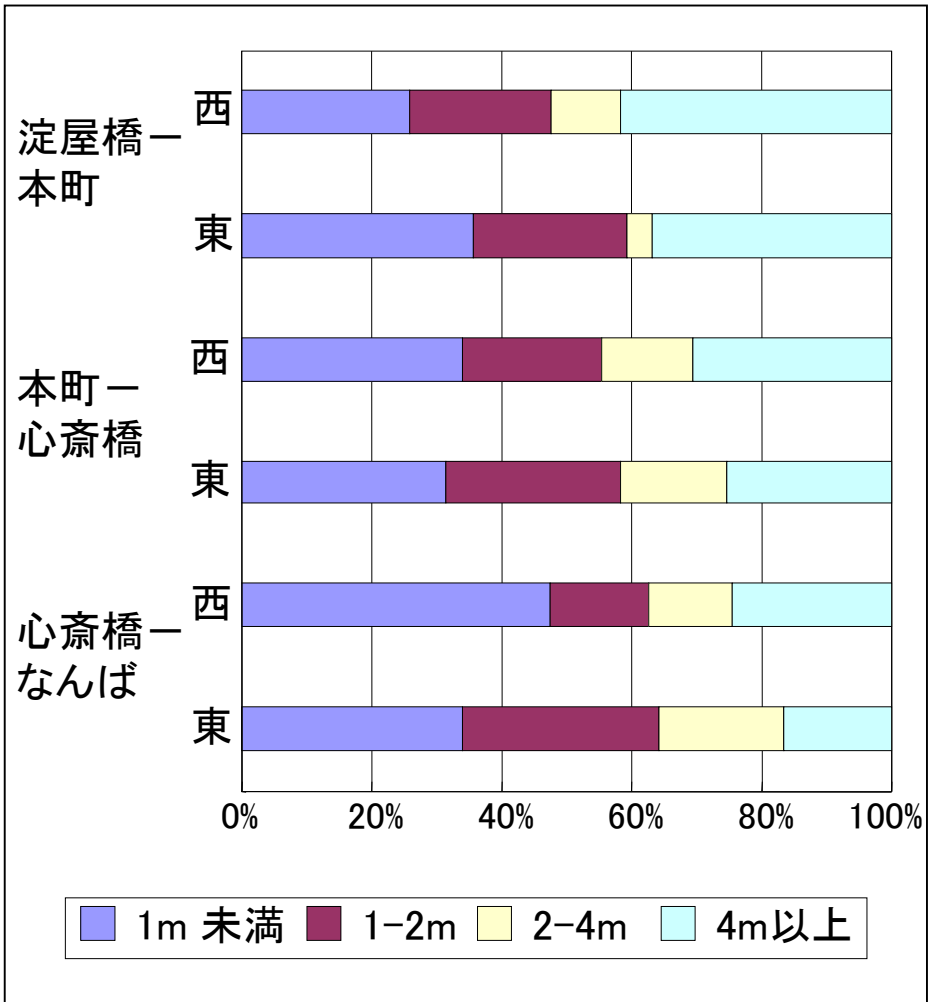


「1-2mセットバック」

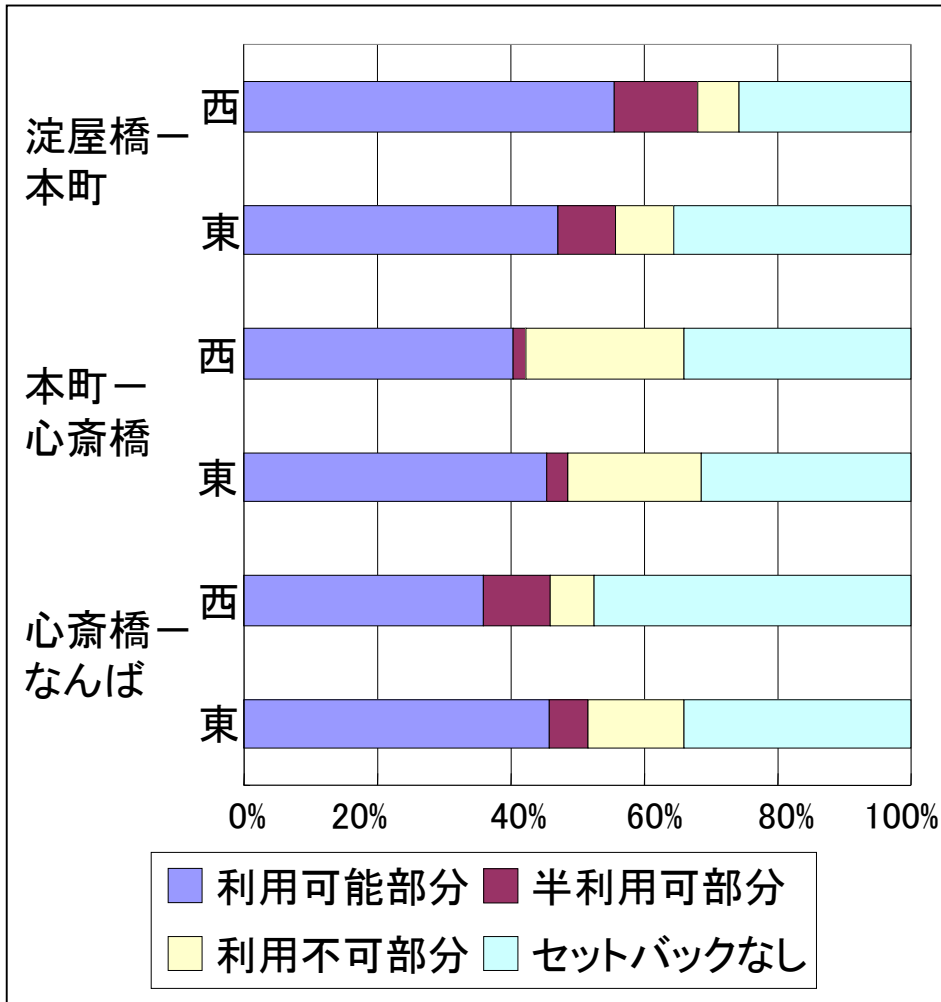


「1m未満セットバック」

第2章 御堂筋沿道のセットバック距離と利用可能状況

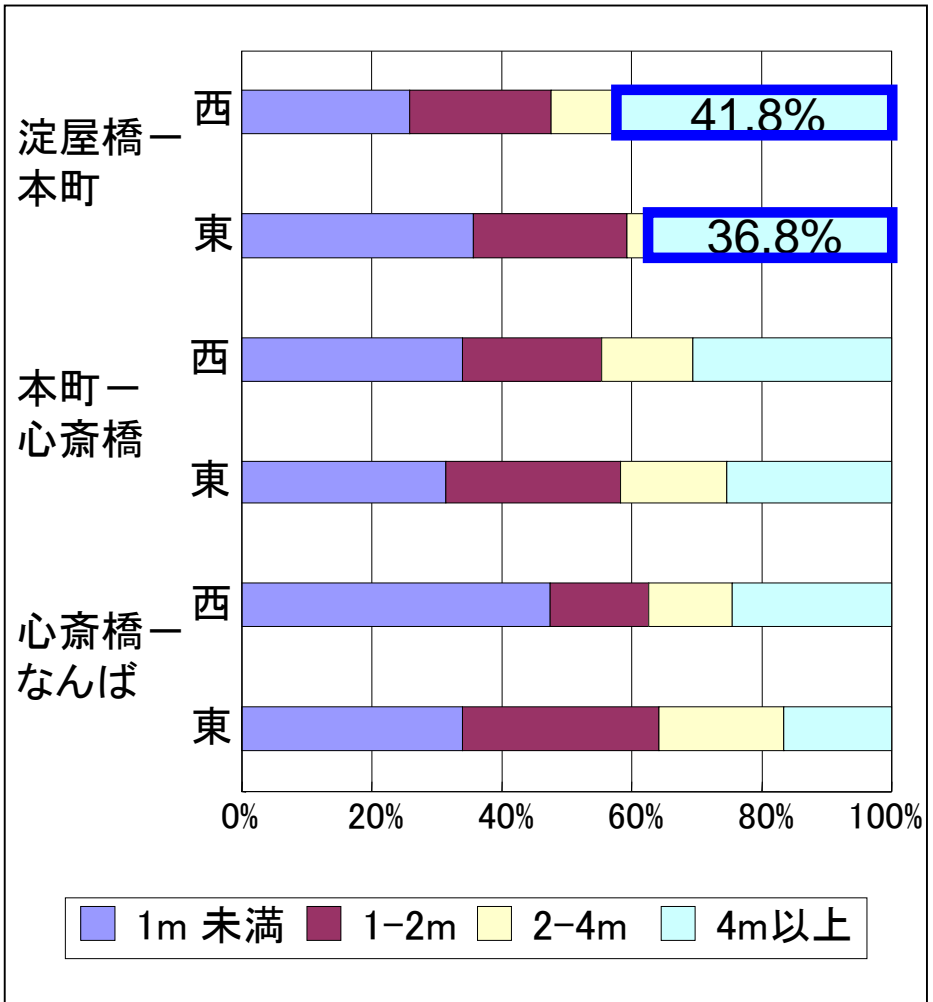


各地区の全長に対する
セットバック距離別の間口長の割合

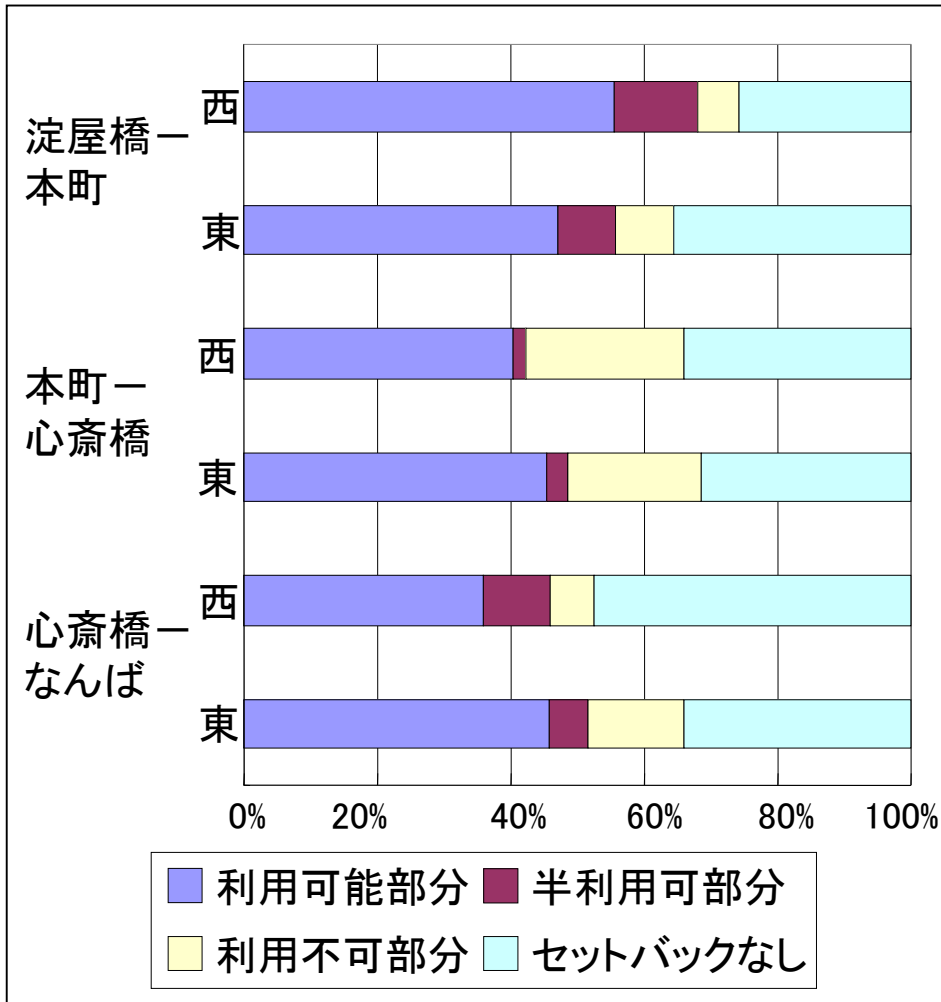


各地区の全長に対する
利用可能状況別の間口長の割合

第2章 御堂筋沿道のセットバック距離と利用可能状況

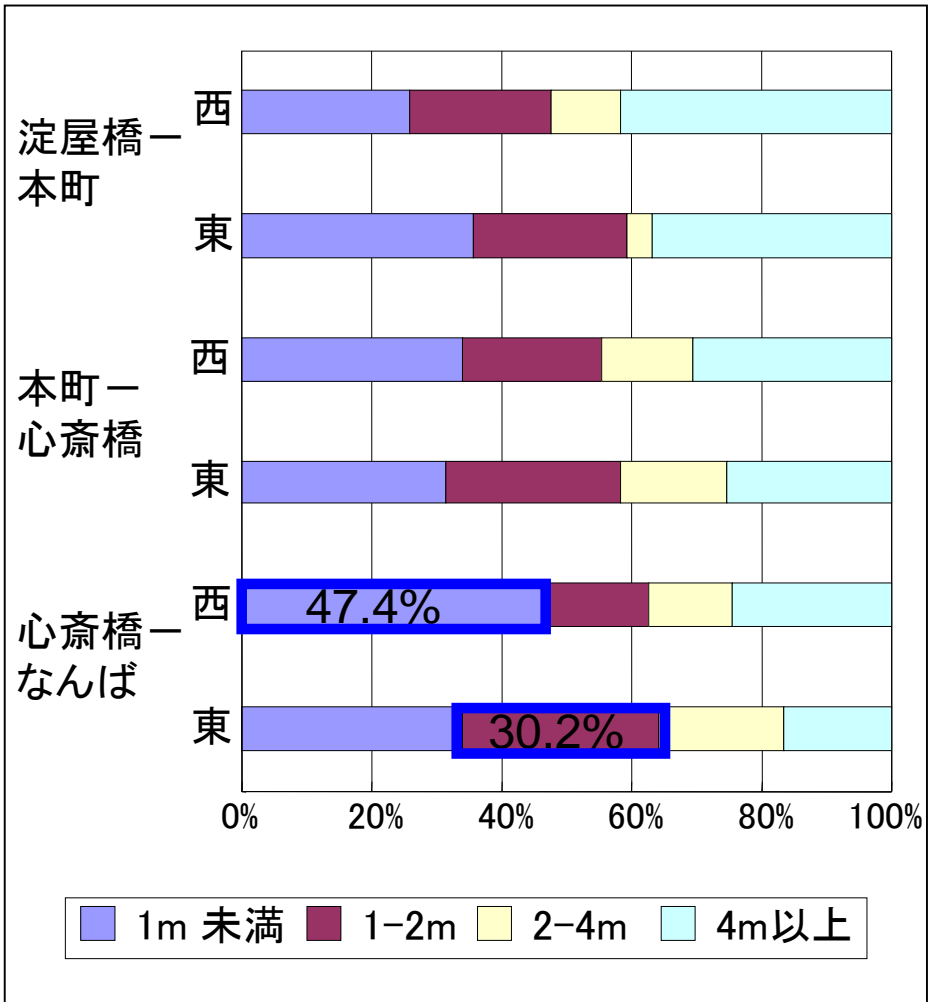


各地区的な全長に対する
セットバック距離別の間口長の割合

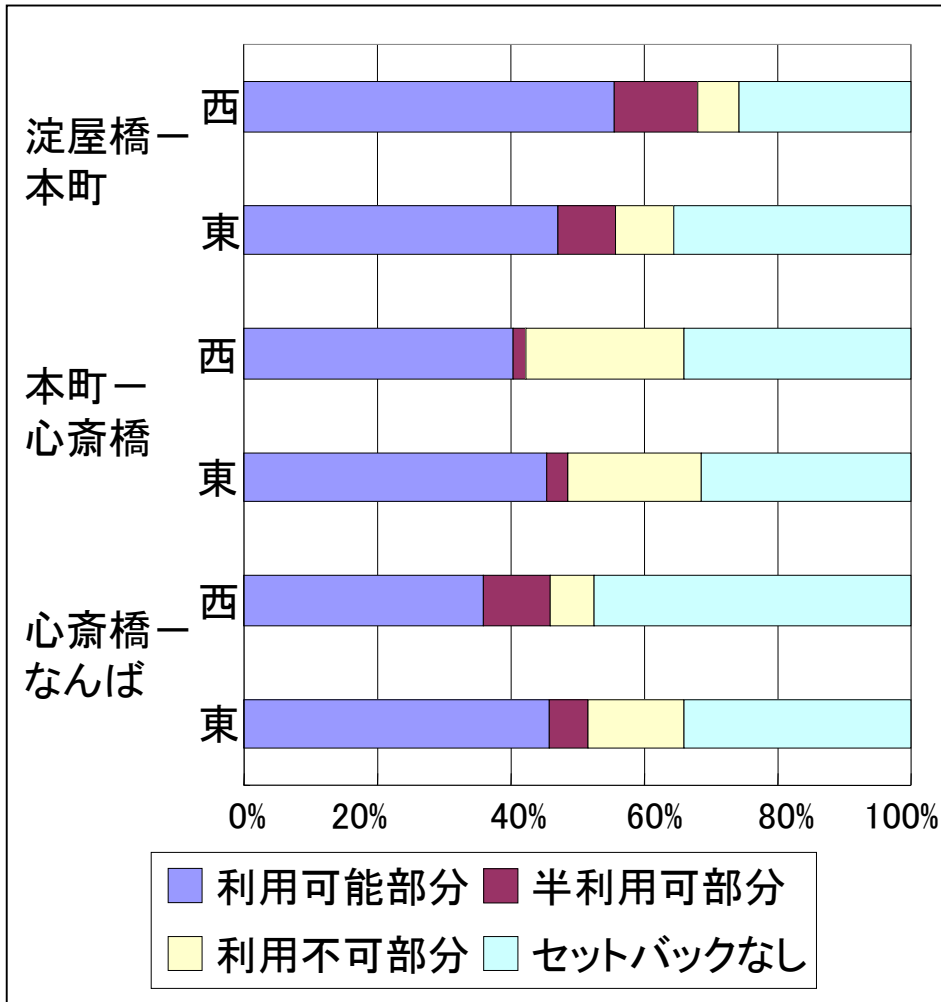


各地区的な全長に対する
利用可能状況別の間口長の割合

第2章 御堂筋沿道のセットバック距離と利用可能状況

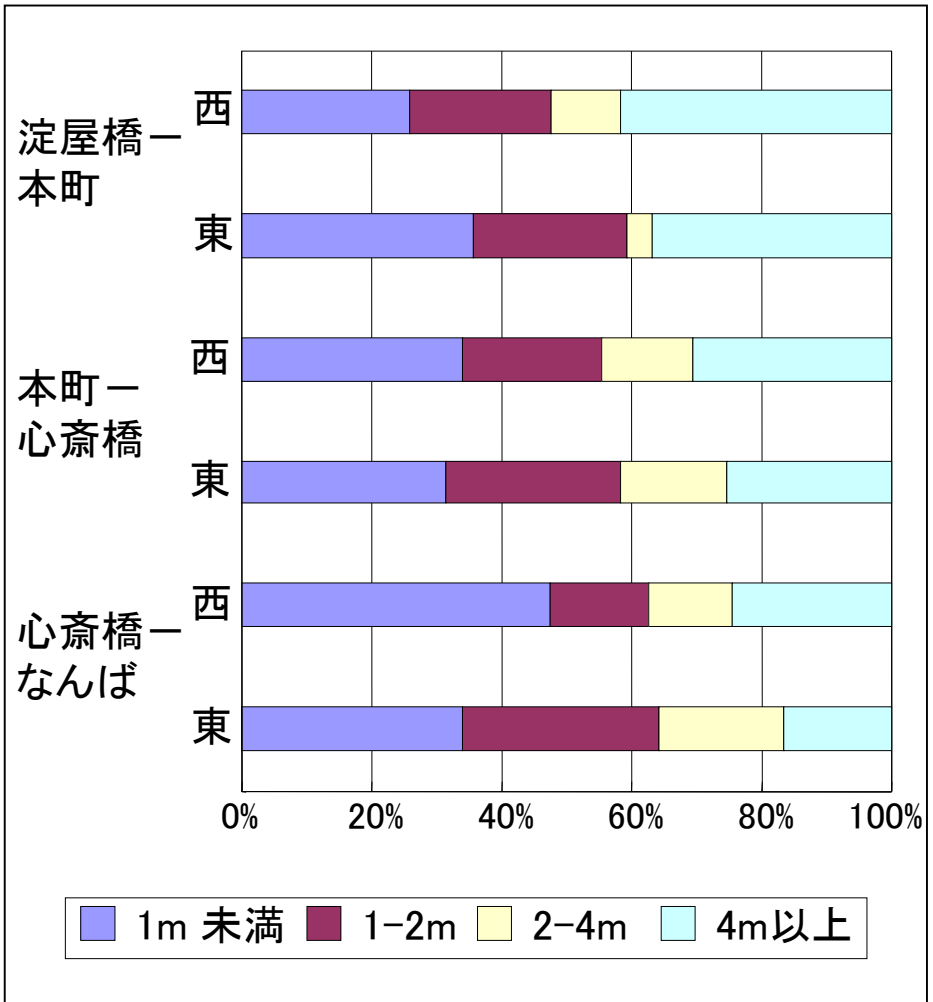


各地区的な全長に対する
セットバック距離別の間口長の割合

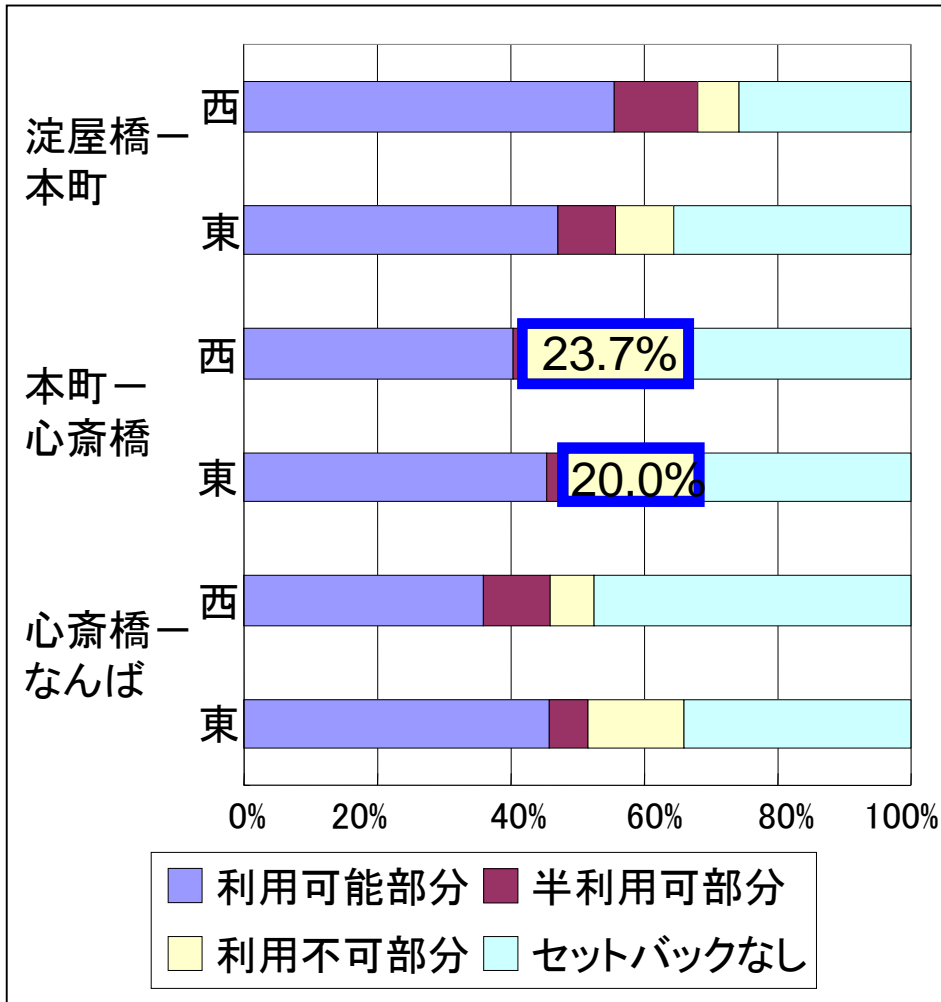


各地区的な全長に対する
利用可能状況別の間口長の割合

第2章 御堂筋沿道のセットバック距離と利用可能状況

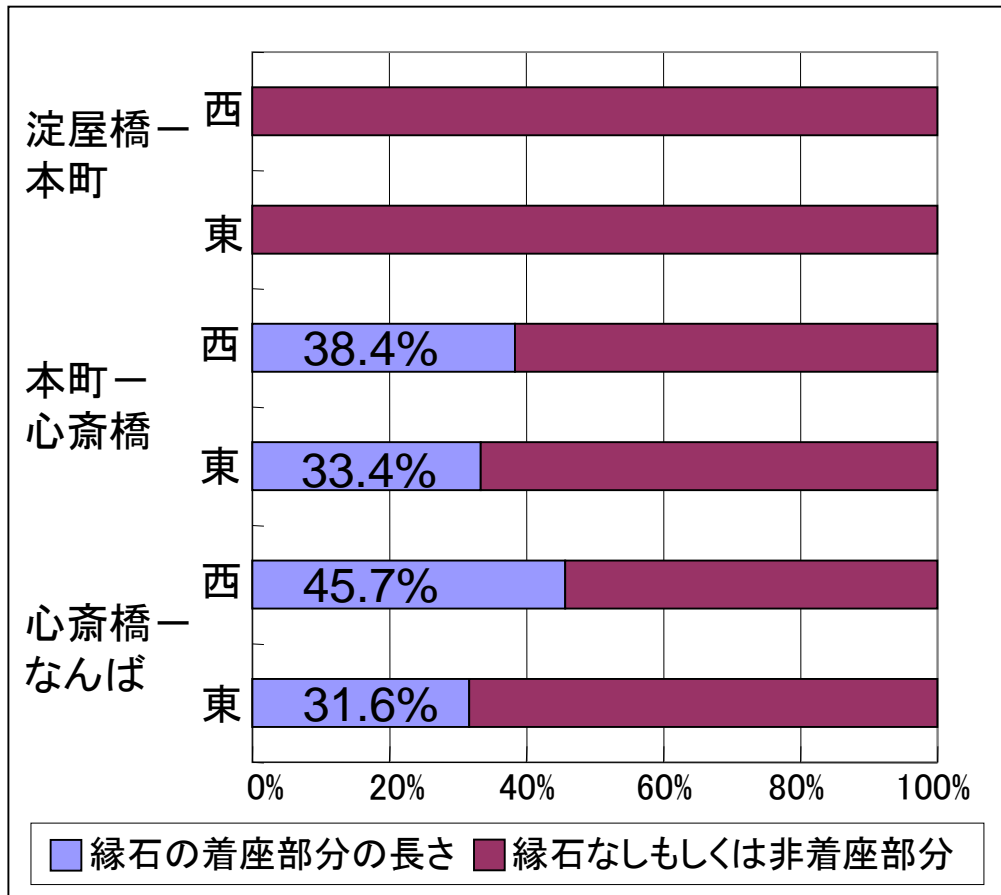


各地区の全長に対する
セットバック距離別の間口長の割合



各地区の全長に対する
利用可能状況別の間口長の割合

第2章 歩道の縁石の着座部分の長さ

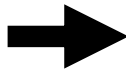

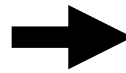



全長に対する縁石の着座部分の長さの割合



縁石の着座部分

第2章 御堂筋沿道の物的環境特性のまとめ

対象区間		民有地	歩道	
淀屋橋ー 本町	西側	<ul style="list-style-type: none"> ・業務系が4割、飲食系が1割強 ・4m以上セットバックが4割強 	<p>オープンカフェの 利用等、滞留環境 は整っている</p>	縁石は 存在しない
	東側	<ul style="list-style-type: none"> ・業務系が5割、空テナント等が2割 ・4m以上セットバックが4割弱 	<p>滞留場所は確保さ れているが休日の 集客力が弱い</p>	縁石は 存在しない
本町ー 心斎橋	西側	<ul style="list-style-type: none"> ・空テナント等が3割弱 ・利用不可部が2割強 	<p>滞留環境は整っていない</p>	着座スペース がやや多い
	東側	<ul style="list-style-type: none"> ・空テナント等が3割弱 ・利用不可部が2割 	<p>滞留環境は整っていない</p>	着座スペース がやや少ない
心斎橋ー なんば	西側	<ul style="list-style-type: none"> ・商業系が6割強 ・1m未満セットバックが5割弱 	<p>集客力は強いが、セッ トバック空地が少ない</p>	着座スペース が多い
	東側	<ul style="list-style-type: none"> ・商業系が7割を占める ・1-2mセットバックが3割 	<p>集客力は強いが、狭い セットバック空地が多い</p>	着座スペース が少ない

第3章 御堂筋沿道の滞留行動特性

調査方法

・ルートセンサス法

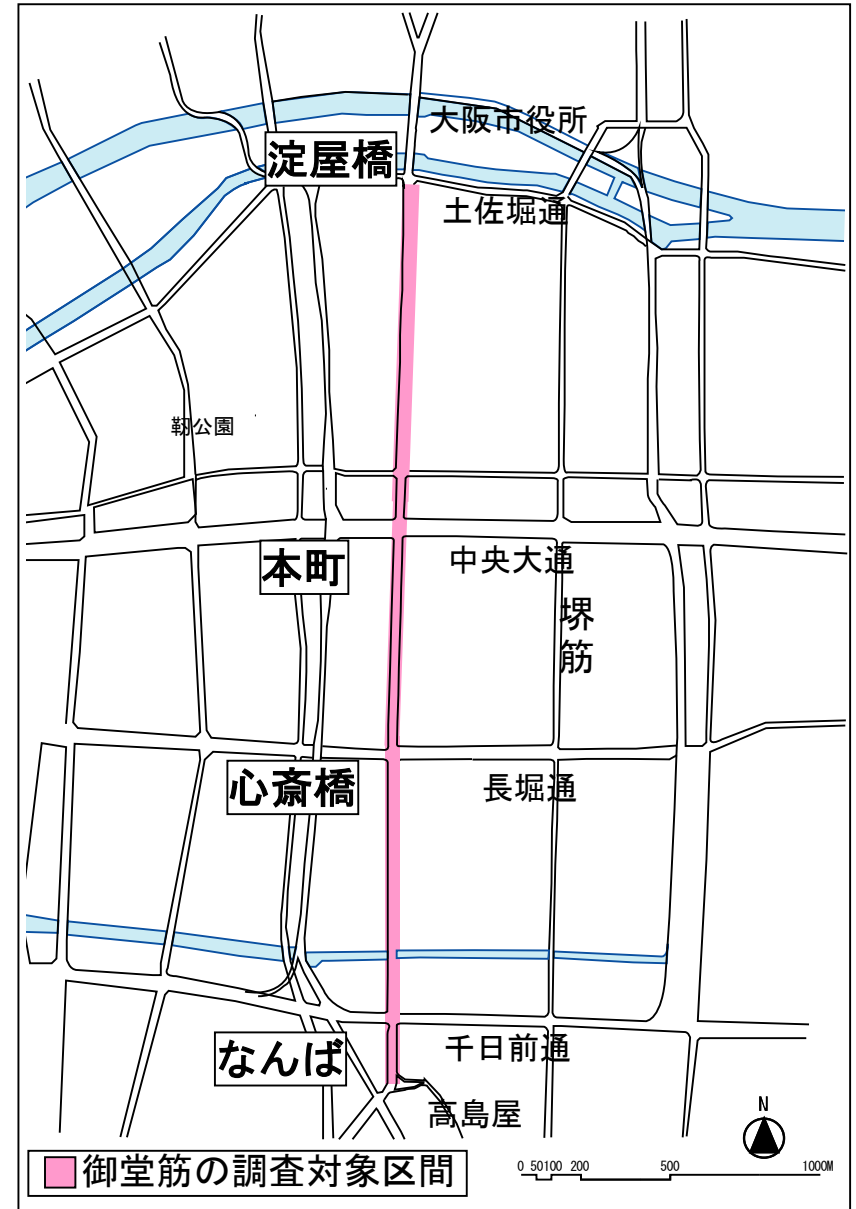
・調査日

10月末の平日、休日それぞれ2日間

8:00、10:00、12:30、15:30、18:30、
20:00の6時間帯

・調査項目

滞留グループ数、滞留人数、滞留者の
属性、行動内容、滞留位置、滞留姿勢



御堂筋位置図

第3章 御堂筋沿道の滞留行動特性

調査方法

・ルートセンサス法

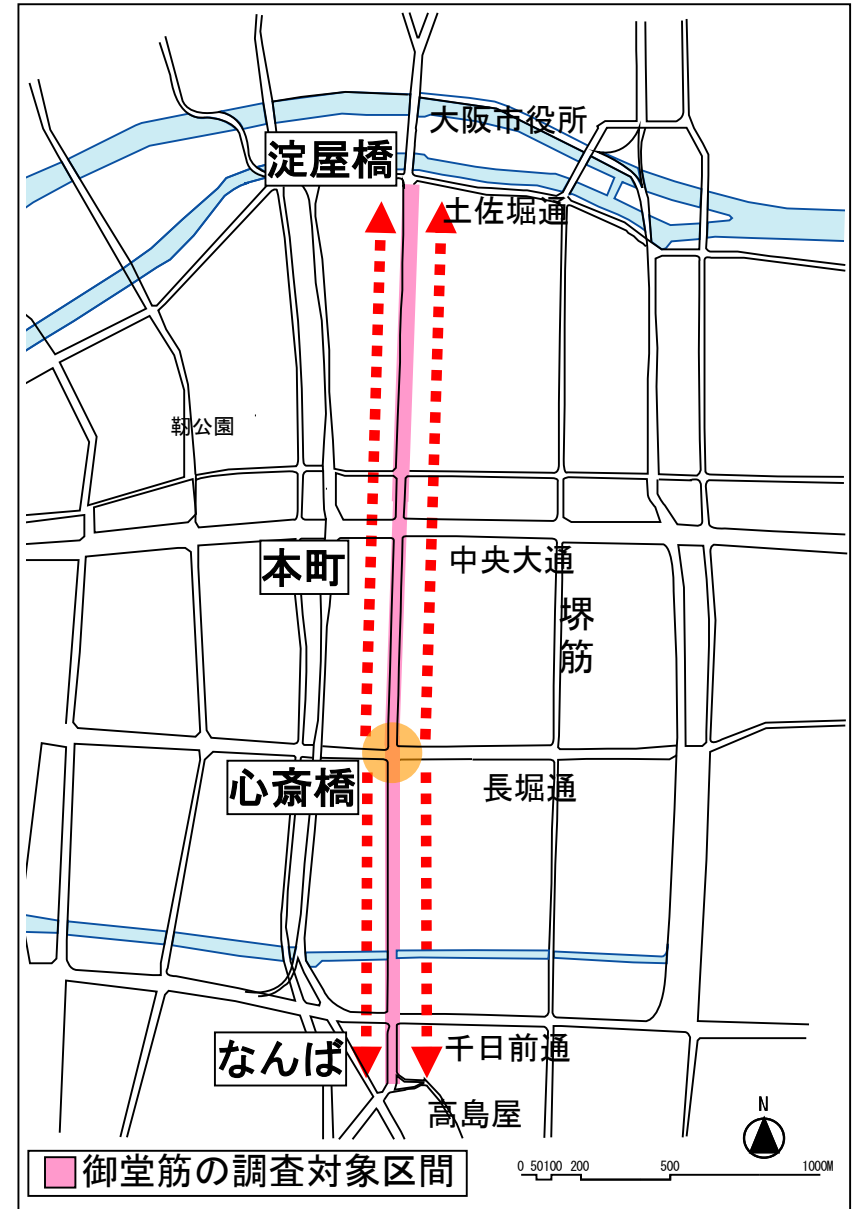
・調査日

10月末の平日、休日それぞれ2日間

8:00、10:00、12:30、15:30、18:30、
20:00の6時間帯

・調査項目

滞留グループ数、滞留人数、滞留者の
属性、行動内容、滞留位置、滞留姿勢

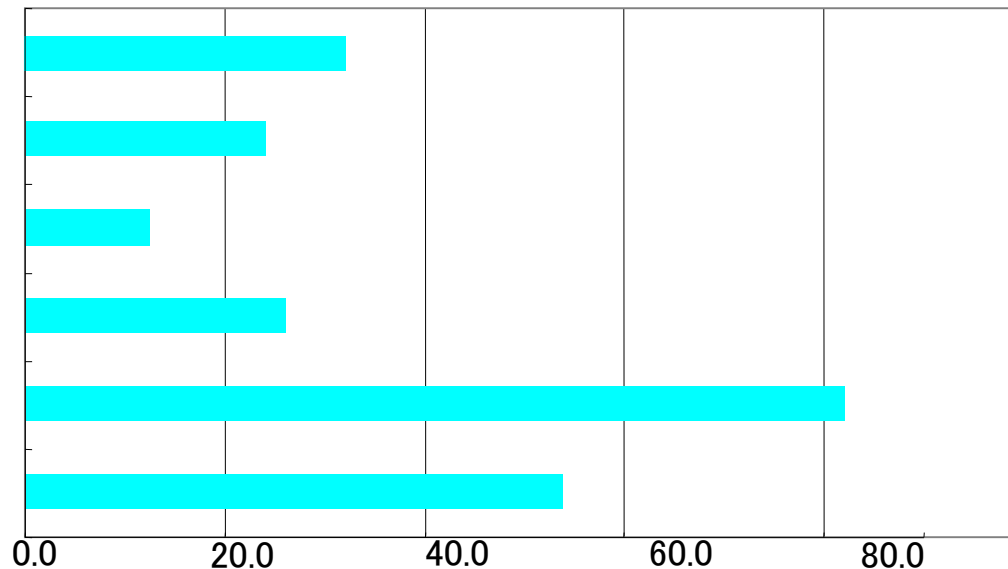


御堂筋位置図

第3章 御堂筋沿道の滞留人数と行動内容

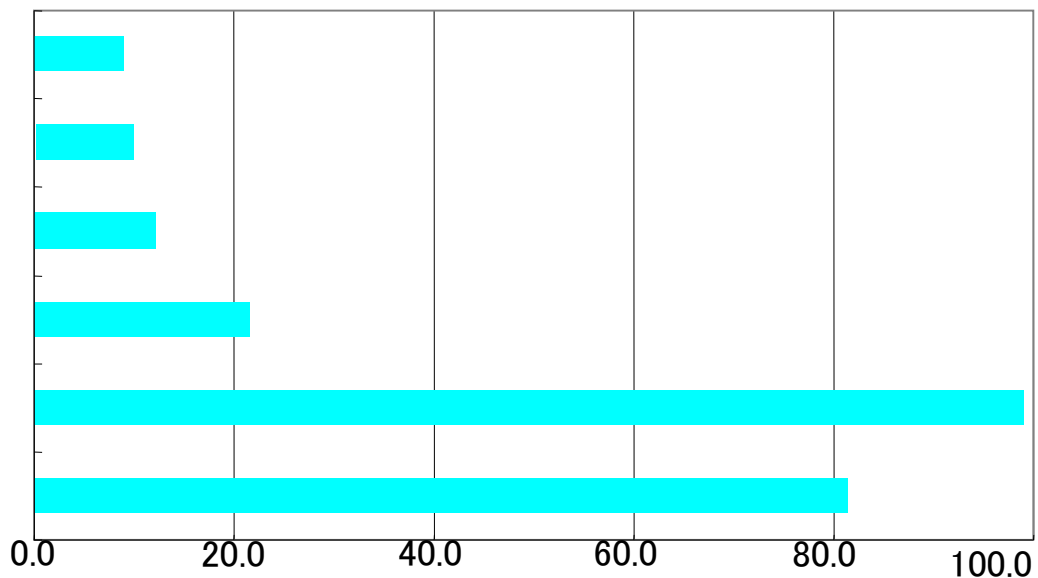
平日

淀屋橋— 西側 43.8人
 本町間 東側 45.3人
 本町— 西側 20.8人
 心齋橋間 東側 34.0人
 心齋橋— 西側 113.5人
 なんば間 東側 72.4人



休日

淀屋橋— 西側 14.5人
 本町間 東側 15.7人
 本町— 西側 21.6人
 心齋橋間 東側 36.4人
 心齋橋— 西側 160.0人
 なんば間 東側 138.3人



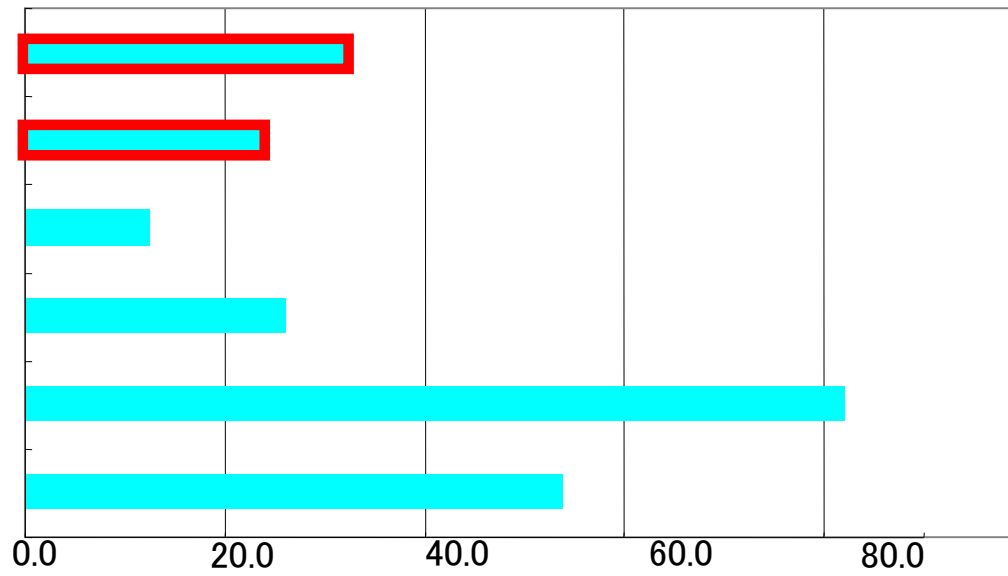
グループ/100m

100m当たりの行動内容

第3章 御堂筋沿道の滞留人数と行動内容

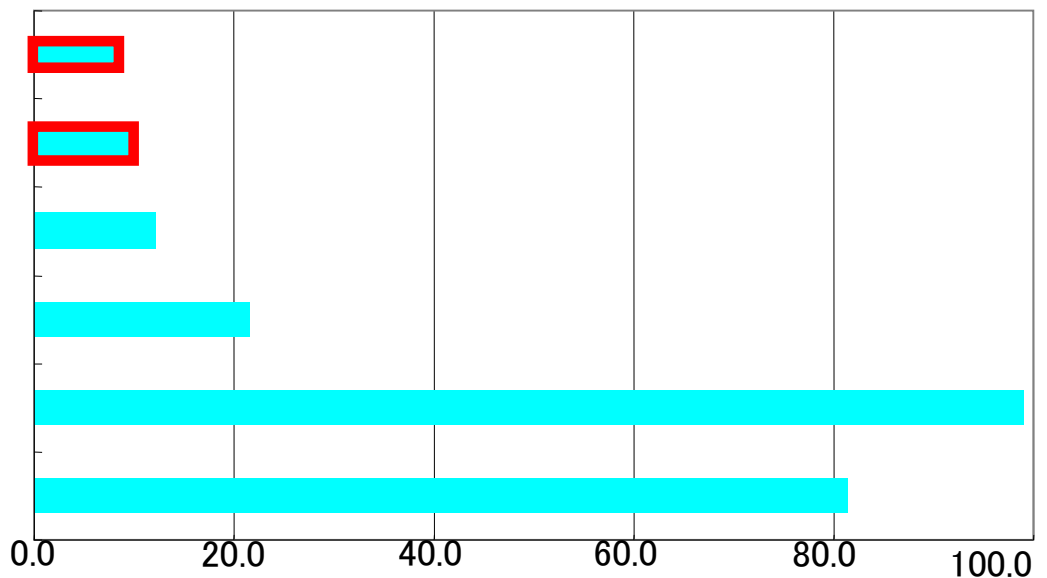
平日

淀屋橋— 本町間	西側 <u>43.8人</u>
	東側 <u>45.3人</u>
本町— 心齋橋間	西側 20.8人
	東側 34.0人
心齋橋— なんば間	西側 113.5人
	東側 72.4人



休日

淀屋橋— 本町間	西側 <u>14.5人</u>
	東側 <u>15.7人</u>
本町— 心齋橋間	西側 21.6人
	東側 36.4人
心齋橋— なんば間	西側 160.0人
	東側 138.3人



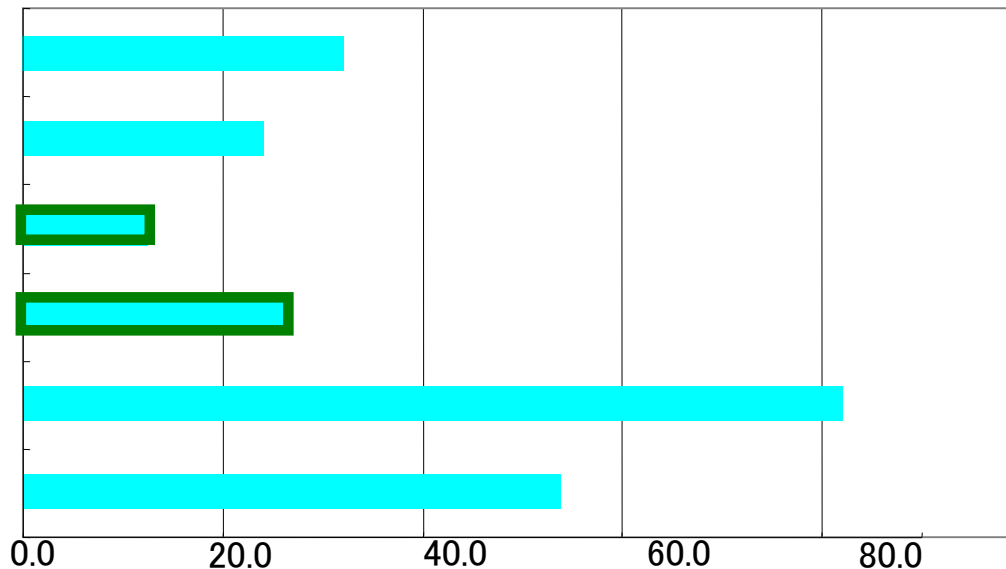
グループ/100m

100m当りの行動内容

第3章 御堂筋沿道の滞留人数と行動内容

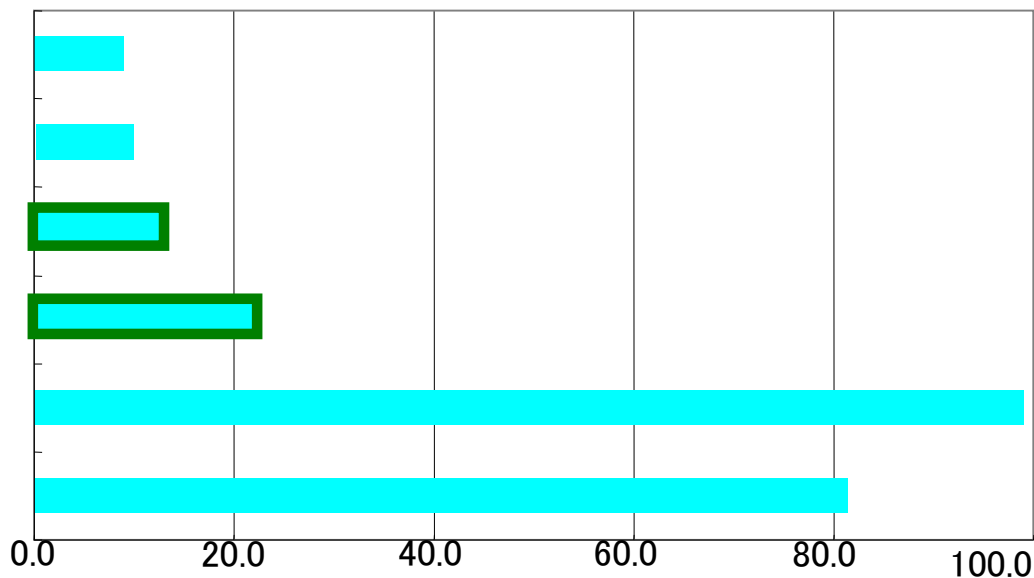
平日

淀屋橋— 西側 43.8人
 本町間 東側 45.3人
 本町— 西側 20.8人
 心齋橋間 東側 34.0人
 心齋橋— 西側 113.5人
 なんば間 東側 72.4人



休日

淀屋橋— 西側 14.5人
 本町間 東側 15.7人
 本町— 西側 21.6人
 心齋橋間 東側 36.4人
 心齋橋— 西側 160.0人
 なんば間 東側 138.3人



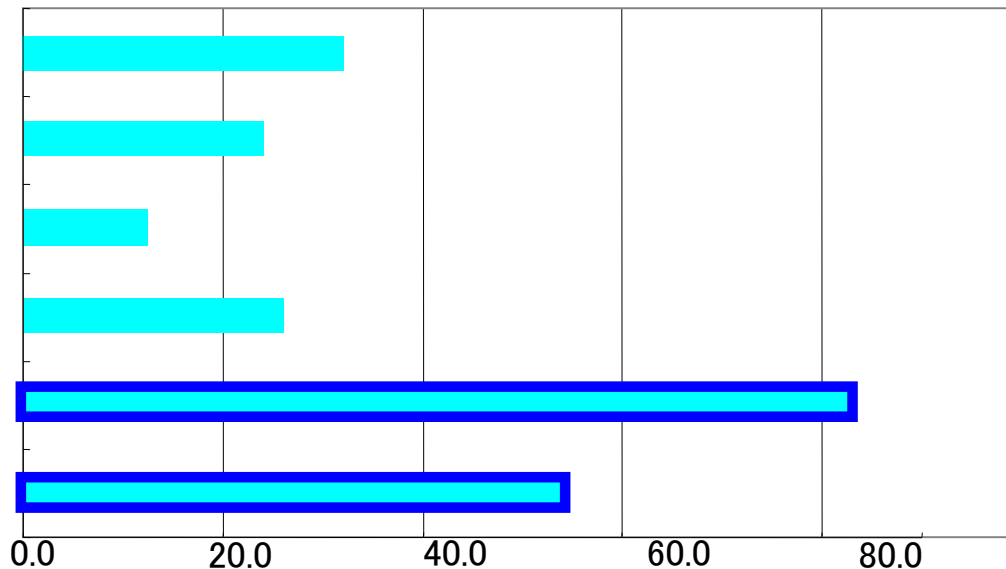
グループ/100m

100m当たりの行動内容

第3章 御堂筋沿道の滞留人数と行動内容

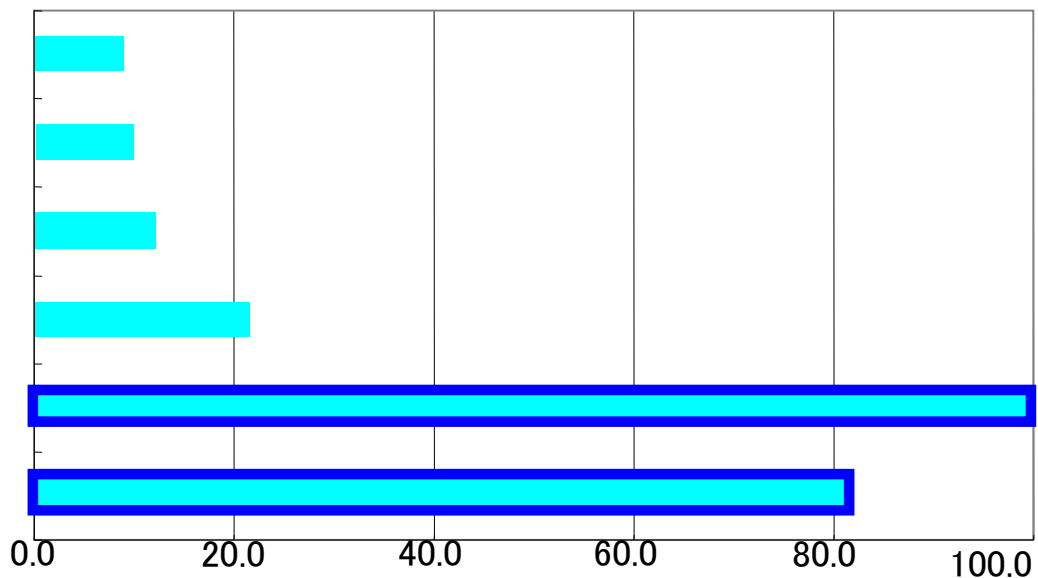
平日

淀屋橋— 西側 43.8人
 本町間 東側 45.3人
 本町— 西側 20.8人
 心齋橋間 東側 34.0人
 心齋橋— 西側 113.5人
 なんば間 東側 72.4人



休日

淀屋橋— 西側 14.5人
 本町間 東側 15.7人
 本町— 西側 21.6人
 心齋橋間 東側 36.4人
 心齋橋— 西側 160.0人
 なんば間 東側 138.3人



グループ/100m

100m当たりの行動内容

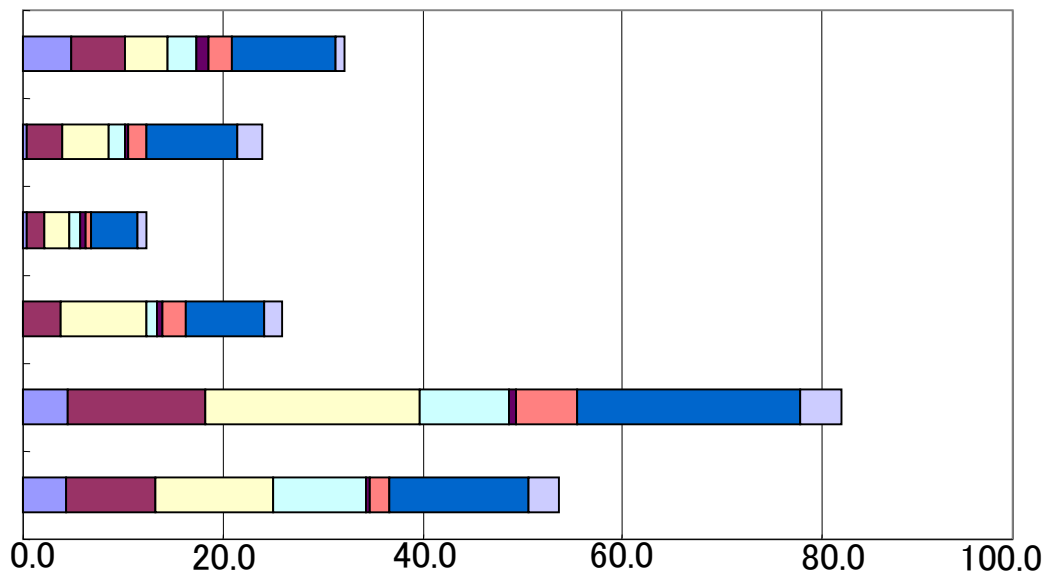
第3章 御堂筋沿道の滞留人数と行動内容

平日

淀屋橋－
本町間
西側 43.8人
東側 45.3人

本町－
心齋橋間
西側 20.8人
東側 34.0人

心齋橋－
なんば間
西側 113.5人
東側 72.4人

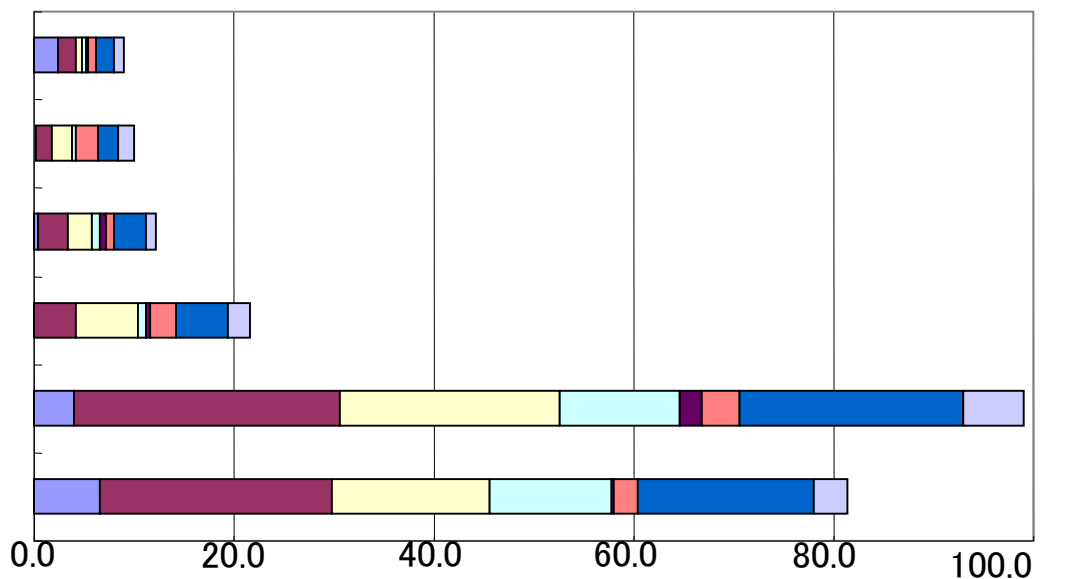


休日

淀屋橋－
本町間
西側 14.5人
東側 15.7人

本町－
心齋橋間
西側 21.6人
東側 36.4人

心齋橋－
なんば間
西側 160.0人
東側 138.3人



飲食
 会話
 休憩
 商的な行為
 読む
 見る
 携帯利用
 その他
 グループ/100m

100m当たりの行動内容

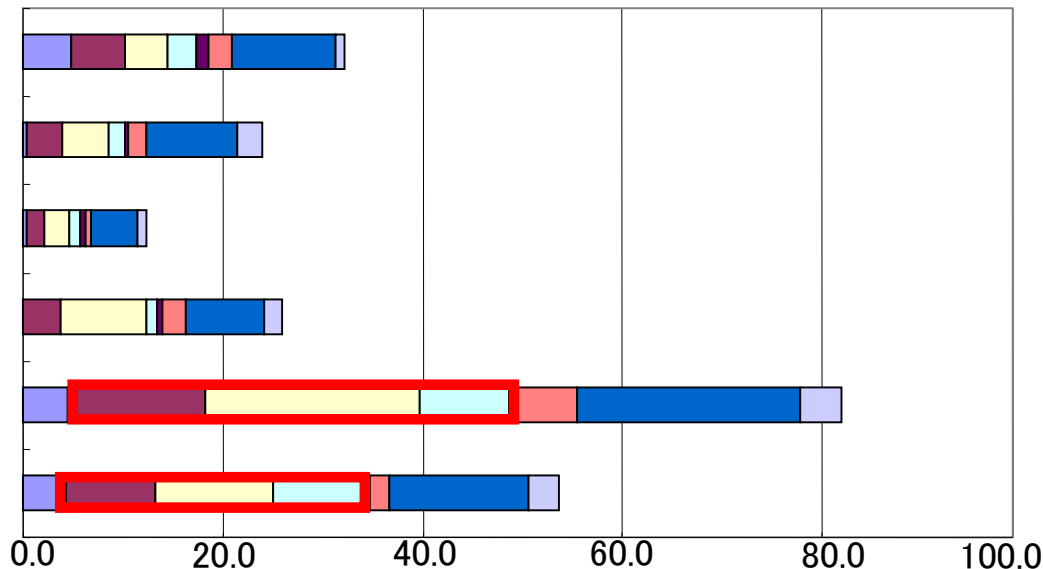
第3章 御堂筋沿道の滞留人数と行動内容

平日

淀屋橋ー
本町間
西側 43.8人
東側 45.3人

本町ー
心齋橋間
西側 20.8人
東側 34.0人

心齋橋ー
なんば間
西側 113.5人
東側 72.4人

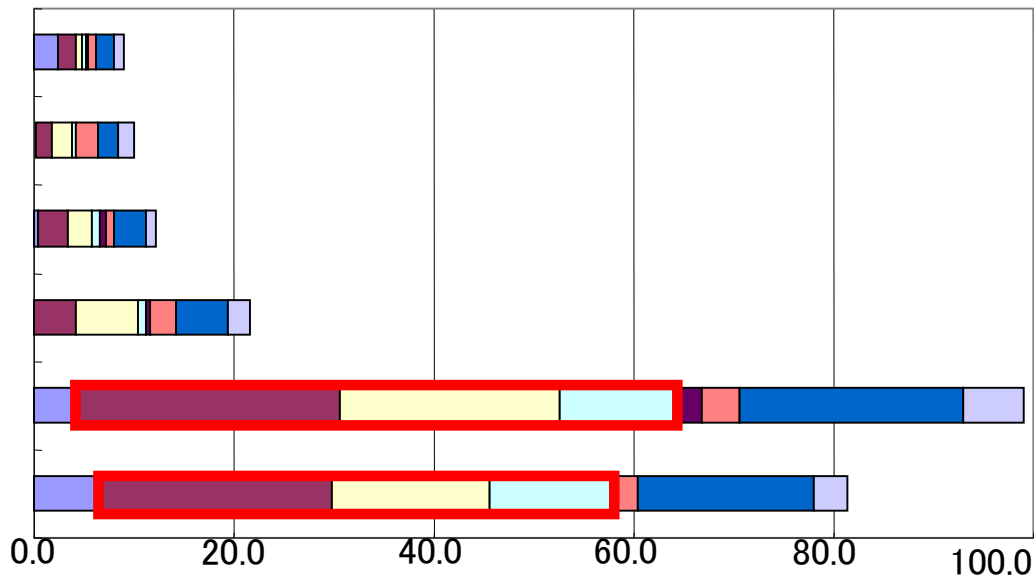


休日

淀屋橋ー
本町間
西側 14.5人
東側 15.7人

本町ー
心齋橋間
西側 21.6人
東側 36.4人

心齋橋ー
なんば間
西側 160.0人
東側 138.3人



飲食
 会話
 休憩
 商的な行為
 読む
 見る
 携帯利用
 その他
 グループ/100m

100m当たりの行動内容

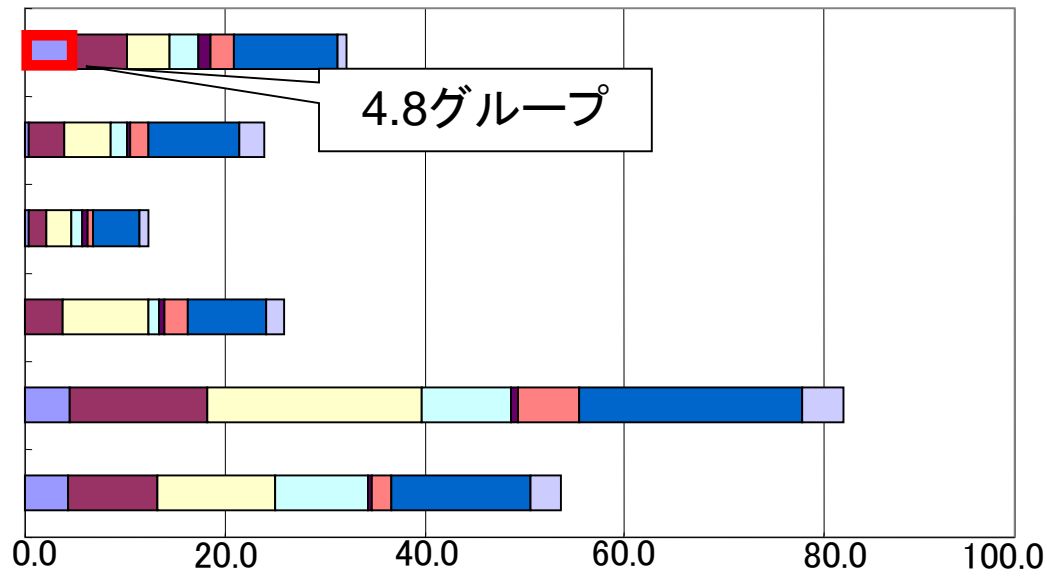
第3章 御堂筋沿道の滞留人数と行動内容

平日

淀屋橋ー
本町間
西側 43.8人
東側 45.3人

本町ー
心斎橋間
西側 20.8人
東側 34.0人

心斎橋ー
なんば間
西側 113.5人
東側 72.4人

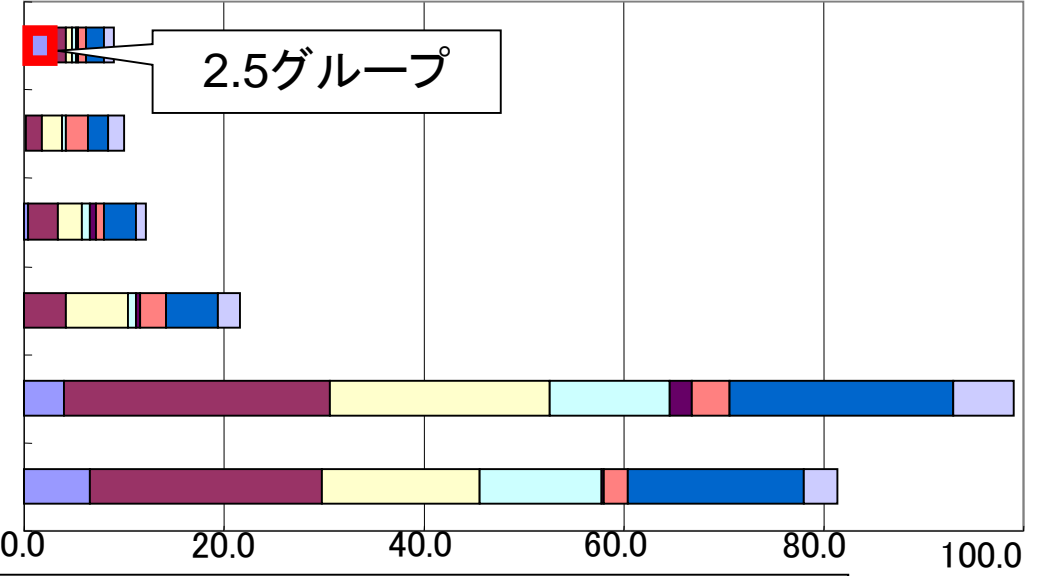


休日

淀屋橋ー
本町間
西側 14.5人
東側 15.7人

本町ー
心斎橋間
西側 21.6人
東側 36.4人

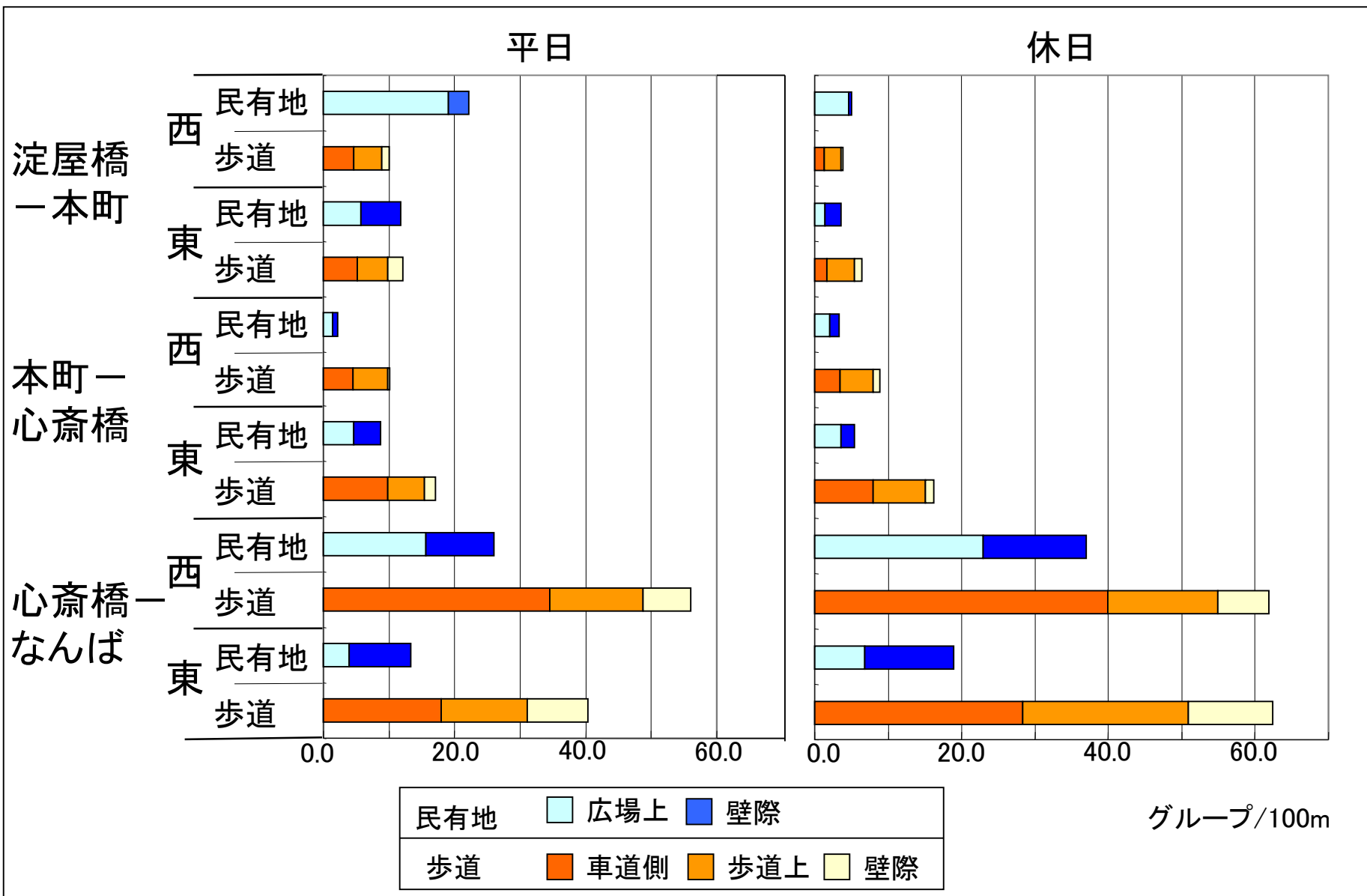
心斎橋ー
なんば間
西側 160.0人
東側 138.3人



飲食
 会話
 休憩
 商的な行為
 読む
 見る
 携帯利用
 その他
 グループ/100m

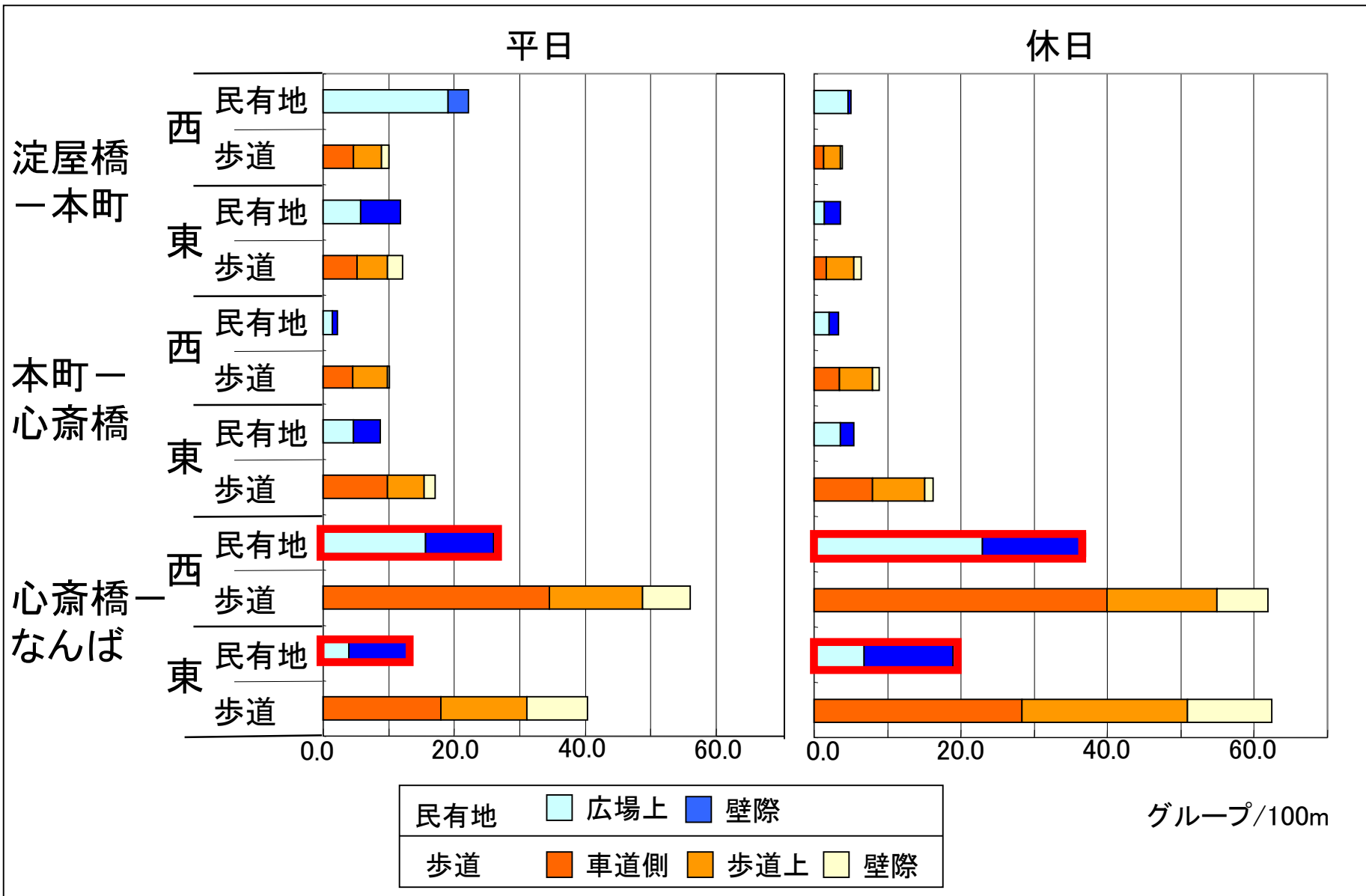
100m当たりの行動内容

第3章 御堂筋沿道の滞留者の滞留位置



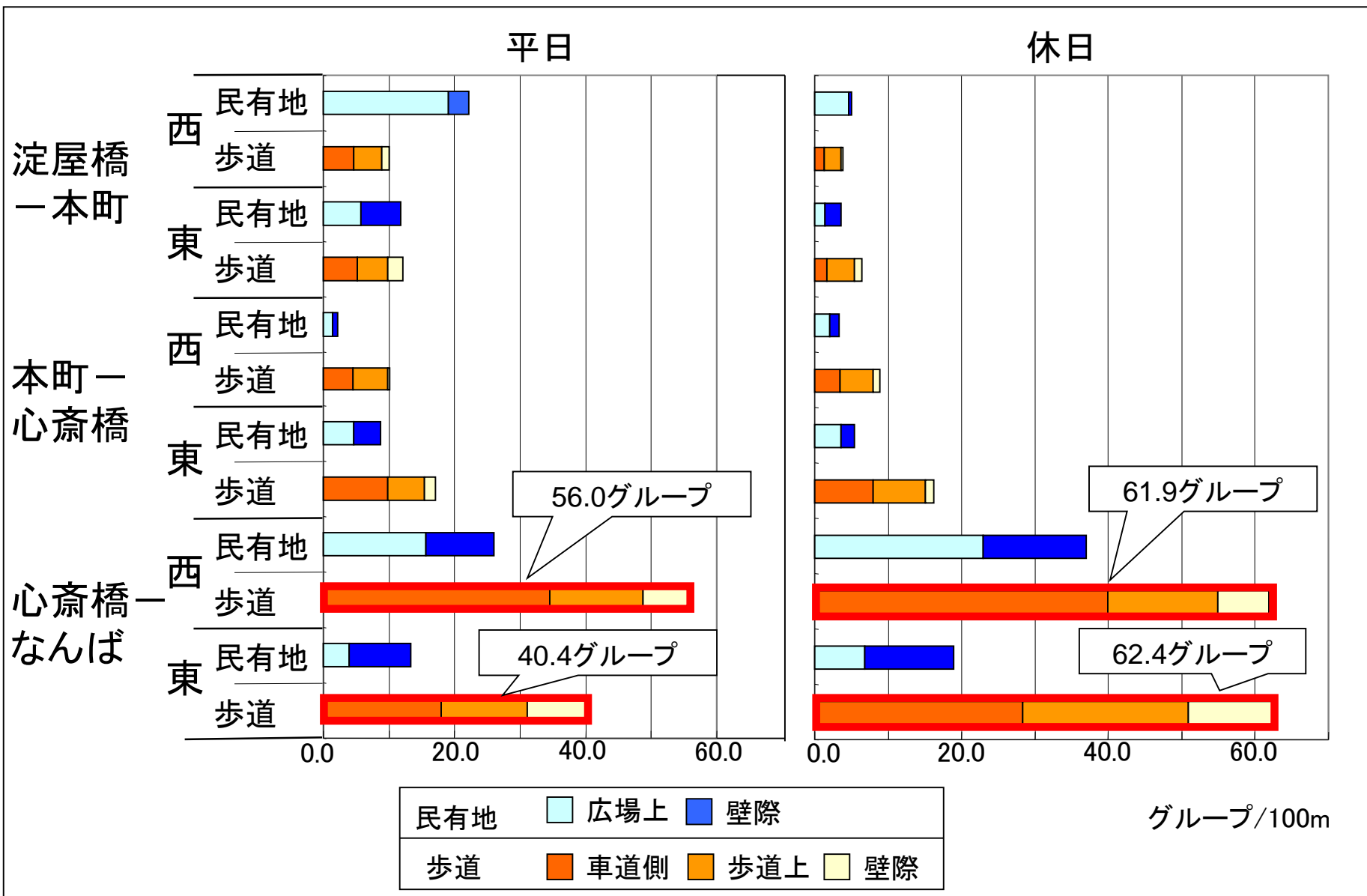
100m当たりの滞留位置

第3章 御堂筋沿道の滞留者の滞留位置



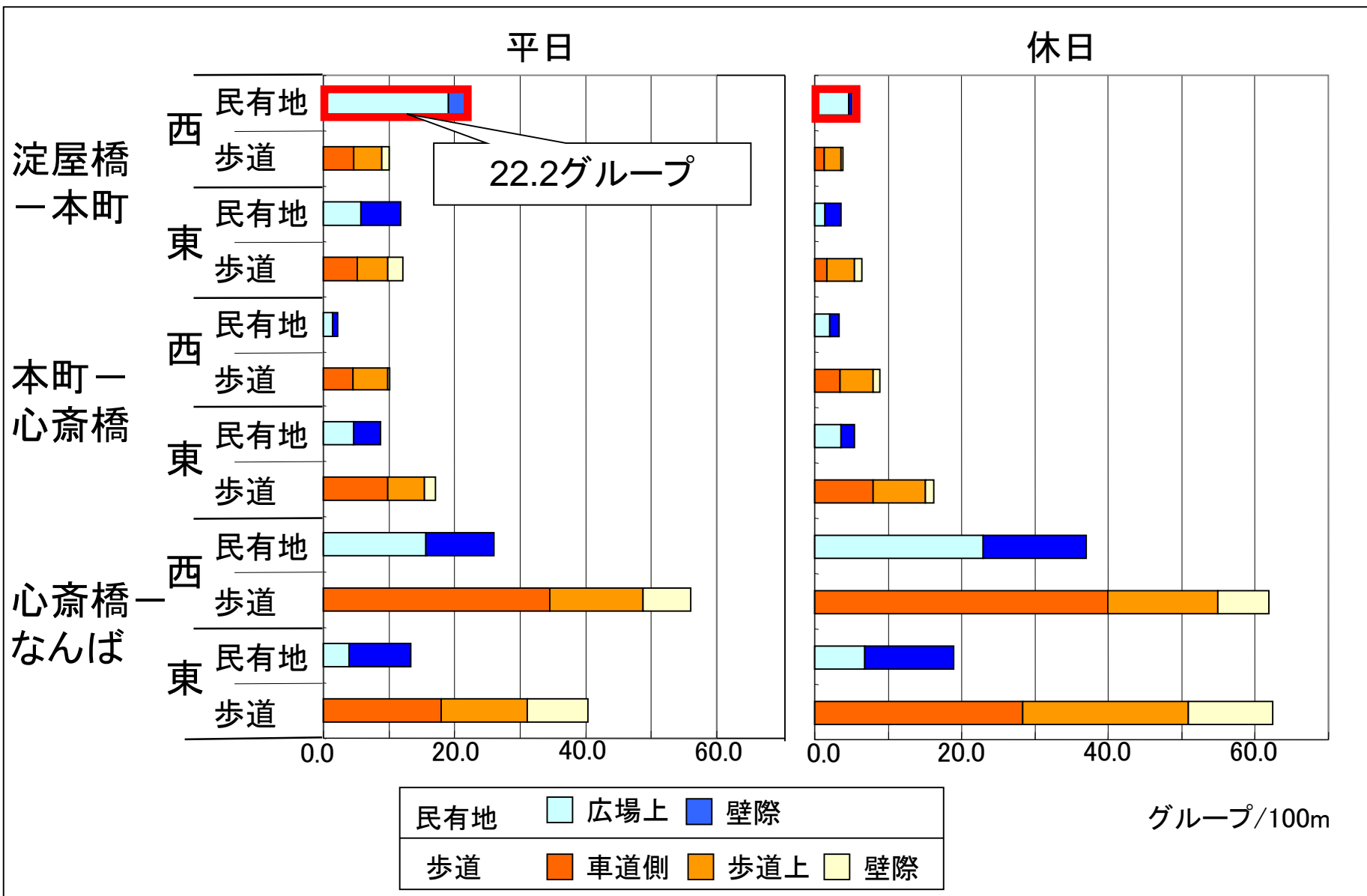
100m当たりの滞留位置

第3章 御堂筋沿道の滞留者の滞留位置



100m当たりの滞留位置

第3章 御堂筋沿道の滞留者の滞留位置



100m当たりの滞留位置

第3章 御堂筋沿道の滞留行動特性

淀屋橋一本町	西側	<ul style="list-style-type: none"> ・滞留人数は平日ではやや多く 休日では非常に少なくなる ・「飲食」が多い ・民有地での滞留が非常に多い 	➡	セットバック空地は良く利用されているが、休日の集客力が弱い
	東側	<ul style="list-style-type: none"> ・滞留人数は平日ではやや多く 休日では非常に少なくなる ・滞留位置が分散している 	➡	セットバック空地は有効に利用されておらず、休日の集客力が弱い
本町一心斎橋	西側	<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日ともに滞留者は少ない 	➡	沿道に滞留する魅力がない
	東側	<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日ともに滞留者はやや少ない 	➡	沿道に滞留する魅力がない
心斎橋一なんば	西側	<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日ともに滞留グループは非常に多い ・「会話」や「商的な行為」等が多い ・歩道に滞留者が多い 	➡	集客力が強く、歩道での2人以上の滞留が多い
	東側	<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日ともに滞留グループは非常に多い ・「会話」や「商的な行為」等が多い ・歩道に滞留者が多い 	➡	集客力が強く、歩道での2人以上の滞留が多い

第4章 滞留行動からみた御堂筋のにぎわい性の創出手法

淀屋橋－ 本町	沿道の一階部分において集客力のある商業用途等への用途転換を誘導し、広いセットバック空地を活かしてファニチャー等を設置し滞留空間としての利用を図る。
本町－ 心齋橋	空テナント等が目立つため、抜本的な対策が必要である。
心齋橋－ なんば	歩道の混雑が発生しているため、歩道の拡幅や民有地側での空間創出が課題といえる。

第4章 滞留行動からみた御堂筋のにぎわい性の創出手法

<p>淀屋橋— 本町</p> <hr/>	<p>沿道の一階部分において集客力のある商業用途等への用途転換を誘導し、広いセットバック空地を活かしてファニチャー等を設置し滞留空間としての利用を図る。</p> <hr/>
<p>本町— 心斎橋</p>	<p>空テナント等が目立つため、 が必要である。</p>
<p>心斎橋— なんば</p>	<p>歩道の混雑が発生しているが や民有地側での空間創出が</p>



第4章 滞留行動からみた御堂筋のにぎわい性の創出手法

淀屋橋－ 本町	沿道の一階部分において集客力のある商業用途等への用途転換を誘導し、広いセットバック空地を活かしてファニチャー等を設置し滞留空間としての利用を図る。
本町－ 心齋橋 <hr/>	空テナント等が目立つため、抜本的な対策が必要である。 <hr/>
心齋橋－ なんば	歩道の混雑が発生しているため、歩道の拡幅や民有地側での空間創出が課題といえる。

第4章 滞留行動からみた御堂筋のにぎわい性の創出手法

<p>淀屋橋一 本町</p>	<p>沿道の一階部分において集 途等への用途転換を誘導し、 空地を活かしてファニチャー 間としての利用を図る。</p>
<p>本町一 心斎橋</p>	<p>空テナント等が目立つため、 が必要である。</p>
<p>心斎橋一 なんば</p> <hr/>	<p>歩道の混雑が発生しているため、歩道の拡幅 や民有地側での空間創出が課題といえる。</p> <hr/>



第4章 滞留行動からみた御堂筋のにぎわい性の創出手法

淀屋橋－ 本町	沿道の一階部分において集客力のある商業用途等への用途転換を誘導し、広いセットバック空地を活かしてファニチャー等を設置し滞留空間としての利用を図る。
本町－ 心齋橋	空テナント等が目立つため、抜本的な対策が必要である。
心齋橋－ なんば	歩道の混雑が発生しているため、歩道の拡幅や民有地側での空間創出が課題といえる。